

## 特集展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。  
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

### 特集展示「水と遊ぶ」

1927年(昭和2)7月24日は芥川龍之介の命日であり、この日は最晩年の作品『河童』に因んで「河童忌」と呼ばれています。芥川は南蛮紅毛に関する資料収集のため、菊池寛と共に今から100年前、1919年(大正8)に初めて長崎を訪れました。1922年(大正11)にも来崎し、二度の来崎では、のちに芥川の弟子となり、長崎の郷土史家として大成する渡辺庫輔や、実業家であり文化人でもある永見徳太郎らと深い交友を結びました。数々の芥川作品ではその舞台に長崎が選ばれていることから、彼の長崎への思いをうかがうことができます。

本特集展示では、芥川の筆による河童の屏風をはじめとして、作家や画家のサロンであった料亭菊本に所蔵されていた資料を展示公開します。菊本を訪れた高浜虚子や永井荷風による書額など、ゆかりの品を紹介するとともに、芥川の作品にも登場する長崎ゆかりの画家による作品をご紹介します。

また、屏風に描かれている「河童」にあわせ、「水」に関係した作品、水辺に暮らす生き物たちもあわせて取り上げていきます。



芥川龍之介筆《河童図屏風》



文豪たちゆかりの資料

#### 特集展示「水と遊ぶ」

会期：2019年7月18日(木)～9月16日(月祝)

休館日：8月19日(月)、9月2日(月)

会場：特集展示室

(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

観覧料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料



平戸・三川内焼《白磁鉄彩人魚漏斗置》



平戸・三川内焼《左:栄螺 右:蛤》

